

# <アナログ/デジタル混在信号の同期計測>

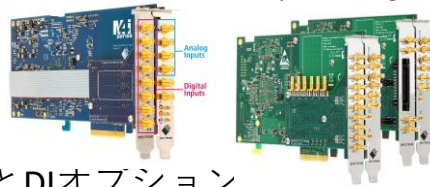
## 概要

プロセッサを使用してコントロールをしている機器の場合、図1に示すように、バス（例えばI2C）の動きと、それに同期したアナログ信号（電源ライン、クロック、AD変換器の入力、DA変換器の出力）を測定する必要がでてきます。また、バスなどのデジタル信号も、その立ち上がり/立ち下がり時間、ハイレベル/ローレベルの電圧値を測定する必要が出てきます。

デジタイザM2p.59xx-x4とそのオプション或いはM4i.44xx-x8のDIオプションにより、上記が可能になります。

M4i.44xx-DigSMA

M2p.xxxx-DigFX2  
M2p.xxxx-DigSMB



## 主な仕様・特長

デジタイザM2p.59xx-x4（16ビット）とDIオプション  
或いは、M4i.44xx-x8（16/14ビット）とDIオプション

- ・物理層の信号計測（アナログ信号計測）とプロトコル層の信号計測（ロジックアナライザのイメージ）を同期データ収集  
アナログ信号の分解能の最高ビットをデジタル信号に割り当てる事により、同期計測を実現。
- ・SBench6-Proを用いる事により、アナログ信号とデジタル信号を同一画面上に、同期しての表示が可能

上記の構成により、アナログ/デジタル同期計測可能

SBench6：プログラムなしで、測定条件の設定、測定データの表示、格納他を行うことが出来るツール。

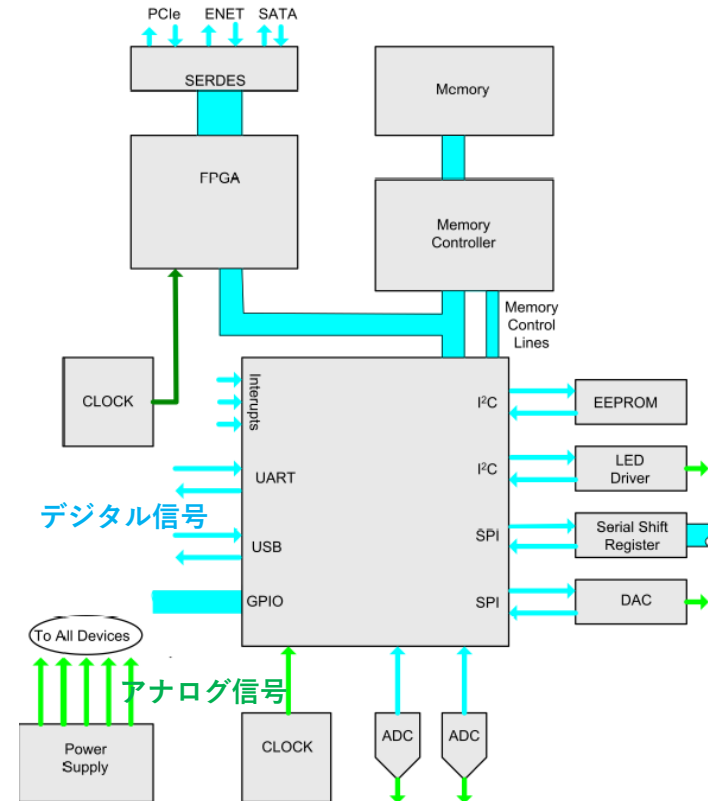


図1 プロセッサ制御機器

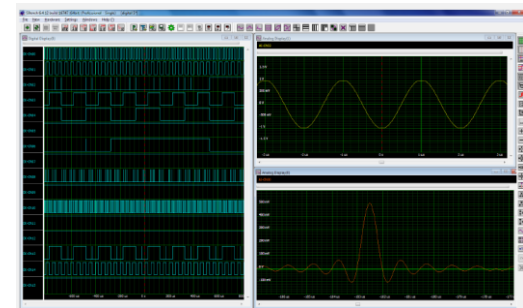


図2 SBench6による  
デジタル/アナログの同期信号計測例